

発表・報告要旨の作成のポイント

発表・報告題（タイトル）・発表・報告者名等はMSゴシック体

共同研究(実践)者は、グループ名や所属等ではなく、実際に研究(実践)に携わった人の個人名を明記してください。

「 発表・報告題（タイトル） ～ サブタイトル ～
○ 発表者名：
所 属：
共同研究(実践)者名： 」

【研究(実践)の目的】

- ・研究(実践)の対象とそれに取り組む理由
- ・研究(実践)によって実現したい(達成したい)ゴール

【研究(実践)の方法】

- ・研究(実践)内容に関する簡単な説明
- ・アンケート調査の場合、目的・期間・調査対象(属性・範囲・時点・選定基準)・方法等を記載
▶例：滋賀県内の～の実態を把握するため、○年○月から△月、滋賀県在住の中・高校生□名に対し「～に関する実態調査」のアンケートを～の協力を得て実施した。
- ・実践の方法では、誰に(対象者)・どこで(場所)・何を活用して(手段)・どのような働きかけや取組み(介入・援助・サービス等)を行ったのかを記載

【倫理的配慮】

- ・対象者の同意・プライバシーの保護
- ・個人情報の管理及び個人情報が特定されないような記載
▶例：個人が特定できないように十分な倫理的配慮を行った。また、発表にあたり～の承認(または同意)を得た。

【結果・考察】

- <結果>
 - ・研究(実践)によって得られた結果、発見や所見
 - ・アンケート調査の場合、対象者数に対する回収状況(回収数・有効回収率)を記載後、個々の結果を記載
- <考察>
 - ・結果からわかるメリットやデメリット
 - ・仮説に対する結論や継続研究(実践)の有無
 - ・最初に提起した問題や疑問についての答え・考え

【引用・参考文献】 ※引用・参考文献がある場合、下記を参照に記載してください。

- <引用文献>
 - ・理論的背景や考察を論じるとき、他者の考えや研究結果を間接的に、あるいは原典のまま引用したもの
 - <参考文献>
 - ・自分の論述を展開する中で示唆を受けたもの、あるいは自分の研究と特に関わりの深い論文や著書
 - <記載例>
 - 書 籍：著者、書名[、シリーズ名]、出版社[、出版地]、発行年[、ページ]
 - 論 文：筆者、表題、雑誌名{、巻号}、発行年月{、ページ}
 - 新聞記事：{筆者、}見出し、紙名[(夕刊)]、年月日[、ページ]
 - Web ページ：{著者、}表題{、シリーズ名}、サイト名、掲載社{、作成日}、閲覧日、URL
- ※[]は必要であれば、{}はわかればかく

項目はMSゴシック体

本文はMS明朝体

箇条書き表記は×